

2013年9月24日
国境なき医師団 (MSF)

英国政府による「世界基金」への10億英国ポンドの出資表明を受けて

英国政府が「世界エイズ・結核・マalaria対策基金（世界基金）」に今後3年間で最大10億英国ポンド（約1580億円）を出資する意向を明らかにした。

国境なき医師団（MSF）は、今回の出資は日本、ドイツ、オーストラリアや欧州委員会など各出資国・機関が分担すべき目標総額150億米ドル（約1兆4820万円）の一部であり、必要額を満たす圧力を高めることは、世界保健機関（WHO）による新たなHIV／エイズ治療指針発表を受けた資金需要の高まりや、薬剤耐性結核（DR-TB）の感染拡大への対策資金状況を鑑み、不可欠と以下のとおり見解を発表した。

「英国政府は世界の出資者に対し、口先だけではない資金提供を求めています。その要求が満たされれば、過去10年にわたって繰り広げられてきた致命的な3大感染症との闘いはさらに大きく進展するでしょう。日本、ドイツ、オーストラリア、欧州委員会などの各国・機関も世界基金に対する今後3年間の満額の財政援助に踏み出すことが求められます。

HIV／エイズ治療の普及拡大が何百万人もの命を救うだけでなく、ウイルスのまん延予防にも役立つことがわかっています。また折しも、これまで手のつけられなかった薬剤耐性結核（DR-TB）の本格的な対策が、貴重な新技術によって、軌道に乗ろうというところでもあります。今こそいっそうの努力を払うべき時なのです。DR-TB治療が必要とされる人の5人に1人しか実際の治療対象になっていないという絶対的な不足を補うためには、より多くの国が世界基金とDR-TB対策への出資に寄与する必要があります」。

シャロナン・リンチ

MSF 必須医薬品キャンペーン・HIV／エイズ政策顧問

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘

TEL：03-5286-6141 携帯：090-5759-1983 FAX：03-5286-6124

E-mail: press@tokyo.msf.org <http://www.msf.or.jp>